

高鍋町内水ハザードマップ

高鍋町 洪水・土砂災害ハザードマップ情報

凡例	
洪水浸水想定区域	防災関連情報
浸水深0.5m未満	指定避難場所・避難施設
浸水深0.5m以上3.0m未満	町役場
浸水深3.0m以上5.0m未満	警察署
浸水深5.0m以上	消防署
(国土交通省の資料より)	
家屋倒壊等氾濫想定区域	小中学校・幼稚園・保育園
氾濫による家屋倒壊等	各種施設等
河岸侵食による家屋倒壊等	水位観測所
(国土交通省の資料より)	
平成17年台風14号の浸水実績	危機管理型水位計
床上浸水した区域	雨量観測所
床下浸水した区域	監視カメラ
(国土交通省の資料より)	
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	防災行政無線
特別警戒区域(土石流)	町境
警戒区域(土石流)	高速道路
警戒区域(急傾斜地の崩壊)	国道
警戒区域(急傾斜地の崩壊)	県道
(宮崎県の資料より)	広域農道

洪水・土砂災害ハザードマップについて

このマップでは、大雨によって町内の主要河川が氾濫した場合に想定される「洪水浸水想定区域・家屋倒壊等氾濫想定区域」と、土砂災害が発生するおそれのある「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」を示しています。
このマップに示した災害危険区域以外にも、被害が発生する場合があります。身の周りに危険を感じたら、早めに近くの安全な場所に避難してください。
また、万一逃げ遅れた場合、夜間の場合など、状況によって避難への立退き避難が困難な場合は、家の中の高い場所や2階以上の建物への避難も選択肢の一つです。

洪水浸水想定区域について

指定時点の小丸川水系の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定しうる最大規模の降雨(小丸川流域の9時間の総雨量607mm)に伴う洪水により、氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)と浸水の深さ(浸水深)」をシミュレーションにより予測したものです。
(平成29年3月 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所作成)

家屋倒壊等氾濫想定区域について

洪水浸水想定区域におけるシミュレーションをもとに、「家屋倒壊等をもたらすようなはん濫の発生が想定される区域」を示したものです。
(平成29年3月 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所作成)
なお、家屋倒壊等の条件として、氾濫によるものと河岸侵食によるものとに分けて想定されています。
氾濫による家屋倒壊等：堤防決壊に伴う激しい流れによる木造家屋の流失、倒壊を想定しています。
河岸侵食による家屋倒壊等：洪水流による河岸侵食に伴う木造家屋の流失を想定しています。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

宮崎県が平成29年3月までに告示した、急傾斜地の崩壊、土石流の「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」を示しています。
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 平29保促、第113号)

内水ハザードマップについて

- 高鍋町の内水ハザードマップは過去の浸水の実績をもとに作成したもので、水防法に基づく想定最大規模を考慮したものではありません。
- 雨の降り方などにより、地図に示した区域以外にも浸水することがありますので御注意ください。

平成30年9月 24号台風による浸水区域(内水)

